

1. 科目名（単位数）	高齢者心理学特殊研究（2 単位）	3. 科目番号	PSMP8268
2. 授業担当教員	若松 直樹		
4. 授業形態	講義・討議	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし		
7. 講義概要	高齢者を対象とした心理臨床の実践のための専門知識を修得する。心の加齢現象においてみられやすい精神疾患（認知症、気分障害、不安障害）ほか、心の正常加齢においてもうかがわれる社会的課題についても理解する。 高齢者支援に必要な心理的アセスメントや心理社会的介入、また家族ほか（高齢者を支援する人々）の支援について、受講生によるテーマ設定などを通して発表とディスカッションを積み重ねてゆく。		
8. 学習目標	1) 高齢社会の到来の理解 2) 高齢期特有の病理（認知症、老人性うつ病、自死など）の理解 3) 心理的アセスメント・心理社会的介入・家族支援の理解		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	○高齢者支援に関する自身の問題意識を定め、それをテーマとする先行研究や社会的事象・課題を取り上げながら、問題提起およびそれに関わろうとする自身の態度について論述する。 ○レポートの要項などはおって示します。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 小海宏之、若松直樹、川西智也編著『認知症ケアのための心理アセスメントと心理支援—高齢者の心理臨床ハンドブック』金剛出版（3,800 円+税） 【参考書】 長田久雄・箱田裕司 編『超高齢社会を生きる—老いに寄り添う心理学』誠信書房（1,900 円+税）		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準：学習目標に関する問題意識の蓄積と深化 ○評定の方法： 取り組みへの積極性 60%、レポート 40%		
12. 受講生へのメッセージ	後期博士課程に在籍する立場は、自身の問題意識を社会に反映させ課題に対する変化を促す役割でしょう。臨床にせよ研究・教育にせよ、情報の発信者となる能力が重要です。 高齢期の支援はこれからの数十年が高齢者人口などからみても最重要課題となるでしょう。その時期に後期博士課程にいる意味を今一度振り返ってください。「支援（臨床）・研究（課題発見）・情報発信（教育）」に必要なものが何であるか、いつも考えてみてください。		
13. オフィスアワー	初回講義でお知らせします。		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	高齢者支援としての心理臨床の実践		
【学習の目標・内容】 臨床心理士、公認心理師の役割 【キーワード】 臨床心理士、公認心理師 【学習の課題】 心理職の歴史的展開を俯瞰し把握する。 【学習上のポイント】 広く心理職の国家資格化への流れを把握し、高齢者への支援のあり方などを理解する。			
2. テーマ	心理的アセスメント 1		
【学習の目標・内容】 正常加齢の基礎知識 【キーワード】 五感の変化、フレイル、医学モデル、生活機能モデル 【学習の課題】 正常な加齢と病理を含む加齢を把握する。 【学習上のポイント】 正常加齢とはどのようなものかを理解する。			
3. テーマ	心理的アセスメント 2		
【学習の目標・内容】 認知症診断の基礎知識 【キーワード】 アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭葉変性症 【学習の課題】 疾病の生物学的特徴とそれを踏まえた疾病の個性性を把握する。 【学習上のポイント】 認知症診断に必要な情報やその収集を理解する。			
4. テーマ	心理的アセスメント 3		
【学習の目標・内容】 身体機能アセスメント 【キーワード】 国際生活機能分類（ICF）、バーセルインデックス、FIM（Functional Independence Measure） 老研式活動能力指標、地域包括ケアシステムにおける認知症アセスメントシート（DASC-21） 【学習の課題】 生活機能モデルに基づく包括的アセスメントを把握する。 【学習上のポイント】 身体機能のアセスメントを行う必要性ほかを理解する。			
5. テーマ	心理的アセスメント 4		
【学習の目標・内容】 神経心理学的アセスメント 【キーワード】 Mini Mental State Examination：MMSE、改訂長谷川式簡易知能評価スケール：HDS-R、Montreal Cognitive Assessment Japanese version：MoCA-J、リバーミード行動記憶検査 Alzheimer's Disease Assessment Scale-cognitive subscale Japanese version：ADAS-J cog 【学習の課題】 認知症において低下をきたしやすい機能群とそれらを評価するバッテリーを把握する。 【学習上のポイント】 神経心理学的アセスメントで得られるものを理解する。			
6. テーマ	心理アセスメント 5		
【学習の目標・内容】 臨床心理アセスメント 【キーワード】 Neuropsychiatric Inventory：NPI、Geriatric Depression Scale：GDS、バウムテスト 【学習の課題】 BPSD や抑うつ、人格傾向などのアセスメントを把握する。 【学習上のポイント】 精神症状評価や、高齢者の人格検査などを理解する。			

7. テーマ	心理社会的介入（リハビリテーション）1
【学習の目標・内容】	コリンエステラーゼ阻害薬（ChE 阻害薬）、NMDA 受容体拮抗薬 抗アミロイドβモノクローナル抗体、アミロイド前駆体タンパク質 BACE1 低分子阻害薬 抗精神病薬、抗うつ薬、睡眠薬、転倒・過鎮静
【キーワード】	BPSD に対する薬物療法
【学習の課題】	認知症の中核症状、BPSD への薬物療法の実際を把握する。
【学習上のポイント】	認知症の薬物療法の実際を理解する。
8. テーマ	心理社会的介入（リハビリテーション）2
【学習の目標・内容】	行動思考的アプローチ
【キーワード】	先行事象、行動（学習）、結果、行動活性化、問題解決技法、行動管理法
【学習の課題】	行動変容を促す各種技法を把握する。
【学習上のポイント】	認知行動療法による介入を理解する。
9. テーマ	心理社会的介入（リハビリテーション）3
【学習の目標・内容】	情動思考的アプローチ
【キーワード】	BPSD、回想法、支持的療法、バリデーション療法、感覚統合療法、シミュレーション的再現療法
【学習の課題】	認知症ケアの第一優先である、環境調整としての介入法を把握する。
【学習上のポイント】	非薬物療法の基本を理解する。
10. テーマ	心理社会的介入（リハビリテーション）4
【学習の目標・内容】	認知思考的アプローチ
【キーワード】	認知症の記憶障害、リアリティ・オリエンテーション、errorless learning：誤り排除（なし）学習
【学習の課題】	記憶機能低下の実際とその支援方法を把握する。
【学習上のポイント】	認知症の認知機能低下を理解する。
11. テーマ	家族・コミュニティ支援 1
【学習の目標・内容】	地域資源や関連法規・制度
【キーワード】	地域包括ケアシステム、認知症疾患医療センター、高齢者虐待防止法、成年後見制度
【学習の課題】	地域での生活を支える枠組みを把握する。
【学習上のポイント】	認知症にまつわる諸機能・制度を理解する。
12. テーマ	家族・コミュニティ支援 2
【学習の目標・内容】	介護家族の心理アセスメント
【キーワード】	介護家族、ヤングケアラー、サンドイッチジェネレーション（ダブルケア）、ジェンダー、BPSS（Biological-Psychological-Social-Spiritual）アプローチ
【学習の課題】	介護者が直面する困難および心理的課題、介護者アセスメントについて把握する。
【学習上のポイント】	介護家族のアセスメントの方法を理解する。
13. テーマ	家族・コミュニティ支援 3
【学習の目標・内容】	介護家族への心理支援
【キーワード】	心理教育、家族支援プログラム、介護家族の心理ステップ、介護者へのカウンセリング
【学習の課題】	心理職の「臨床心理的地域援助」としての認知症支援を把握する。
【学習上のポイント】	介護家族に心理士ができる支援を理解する。
14. テーマ	家族・コミュニティ支援 4
【学習の目標・内容】	コミュニティや生活の場への支援
【キーワード】	家族会、認知症カフェ、施設ケアでの心理支援、介護職支援、アウトリーチ、認知症初期集中支援チーム
【学習の課題】	地域社会における心理学的支援活動を把握する。
【学習上のポイント】	地域支援（アウトリーチ）を理解する。
15. テーマ	家族・コミュニティ支援 5
【学習の目標・内容】	高齢者虐待への支援
【キーワード】	高齢者虐待、高齢者虐待防止ネットワーク、虐待の早期発見と通報
【学習の課題】	高齢者虐待の実際と背景、要因、介入、再発帽子を把握する。
【学習上のポイント】	高齢者虐待の防止するための支援を理解する。